



巻頭言◆

平成 23 年度の活動を振り返って

会長 小川 勝

昨年の東日本大震災から 1 年たった今、テレビ各局で震災の記録映像を放送していました。改めて災害の甚大さが思い起こされます。又、奈良県では昨年台風 12 号により、こちらでも多くの方々が被災されました。心よりお見舞い申し上げたいと思います。

平成 23 年度はこれら災害に加え世界的な金融不安による急激な円高により来日する外国人が大幅に減少した年でした。

このような環境の中でガイド活動は例年と比べ大幅に減少したことは紛れもない事実です。

したがって、平成 23 年度は活動の中心がやや内向きになったのも自然の成り行きだったかもしれません。

大阪・奈良歴史街道リレーウォークの実施(安堵ボランティアとの共催)、中学校による法隆寺英語案内学習の協力、班活動・なら倶楽部等活発な自主学習、などがその一例です。又定例会における外部の諸先生による特別講演は 5 回行われました。これらはすべて会員の皆様の積極的な参加により成果を収めたものと思います。

さて本年はアイセスの創立 20 周年と言う記念すべき年になります。現在準備委員会を発足させ着々と準備を進めております。事業の詳細についてはあらためて発表しますが、10 月に行われる記念事業においては会員の皆様一丸となって進めて行きたいと思いますので更なるご協力をお願いいたします。

◆ 大阪・奈良歴史街道リレーウォーク

10 月 24 日安堵町ボランティアの会とアイセスの共催でリレーウォークを実施しました。外国人に対する法隆寺のガイドを日常の活動としている私たちが一見ちょっと場違いと感じられた方も有ったと思いますが、県内外のボランティアグループと交流ができ、十分 PR 効果を発揮できたものと思います。当日はアイセスから 14 名、安堵町



ボランティアの会から 13 名、斑鳩の里観光ボランティアの会から 20 名そして斑鳩町観光協会から 2 名の方々がスタッフとして参加し、県内外の各地から 168 名の参加者を迎え秋晴れの中ウォーキングを楽しみました。リレーウォークは今後各地のボランティアの会に引き継がれ続けて行きますので、次回以降も健康のため参加しましょう。

平成23(2011)年度の主な活動

◆平成23年度 主な活動内容報告

(活動期間：平成23年4月1日～平成24年3月31日)

4月24日 定例総会

服部邦子さんが日本政府観光局(JNTO)から長年の国際交流に貢献したことにより表彰された

5月22日 定例会：特別講演「発掘に秘められた法隆寺」 帝塚山大学森郁夫名誉教授

6月26日 定例会：学習発表「私の法隆寺ガイド」佐藤会 員

7月1日 (財)貿易研修センター招聘の外国人教育者による斑鳩西小学校訪問に際し、斑鳩 アイセスSGGから8名が通訳として協力参加。(写真↑)

7月7日 小川会長、斑鳩中学校で3年生を対象に法隆寺について講義

7月8日 小川会長、斑鳩南中学校で3年生を対象に法隆寺について講義

7月24日 定例会：学習発表「海のシルクロードと達磨西来」小川会長

8月2日 長年にわたる奈良県の観光事業振興に対する功績に対し奈良県観光事業功労賞 受賞

9月17日 大阪・奈良歴史街道リレーウォークが桜井市で開催され、アイセスから10名が参加

9月18日 定例会：特別講演「法隆寺出開帳の秘話 PART-2 江戸出開帳以降」高田良信長老、実相院にて

9月26日 斑鳩南中学校法隆寺案内事前学習

10月19日 斑鳩南中学校法隆寺案内現地学習

10月24日 第6回大阪・奈良歴史街道リレーウォークを斑鳩ア イセスSGGと安堵観光ボランティアの会共催で開催

10月26日 比叡山延暦寺バス旅行 (写真→)

11月1日 斑鳩中学校法隆寺案内事前学習

11月27日 定例会：特別講演「仏門に入って」中宮寺・島野 尊章法師、鳩和殿にて (写真→)

12月2日 斑鳩中学校法隆寺案内現地学習

12月4日 斑鳩町産業フェスティバルにおいて、多年にわたり 観光地の資質向上に貢献したことにより斑鳩町長よ り表彰される

12月18日 忘年懇親会



- 1月22日 定例会：特別講演「文化遺産の案内法」 来村多加史阪南大学教授
 2月21日 奈良テレビ「ゆうドキッ」で約10分間アイセスの紹介が放映される
 2月26日 定例会：特別講演「法隆寺式軒瓦の展開 -斑鳩地域と伊予を中心に-」 志賀崇
 斑鳩町教育委員会学芸員
 3月25日 定例会：学習発表「聖徳太子と仏教」加藤会員

アイセス・イン・ザ・メディア

今年度の特徴の1つは、アイセスの活動が新聞テレビなどのメディアに取り上げられたことです。

秋の斑鳩南中学校の法隆寺現地学習に、NHK 奈良放送局から取材があり、夕方と午後9時前のローカルニュースで放映されました。取材者の関心は当然のことながら中学生と留学生にあり、アイセスメンバーは黒子に徹しました。テレビカメラが入ったことで、中学生の皆さんは随分と張り切ってくれました。新聞社からも取材があり、毎日、朝日、読売、奈良の各紙に記事が掲載されました。しかし、残念ながらアイセスの名前が前面に出ることはありませんでした。



1月25日には読売新聞の奈良版「ならルポ」にアイセス紹介の記事が掲載されました。池田さんのガイドぶりが写真付きでレポートされ、「法隆寺 英語で案内20年」というタイトル付きでアイセスの知名度が上がりました。

この記事を見た奈良テレビの記者が2月にアイセスを訪れ、夕方の「ゆうドキッ」に約13分

間アイセスを紹介してくれました。佐藤さんの案内ぶりをテレビカメラが追いました。最近増加しつつある中国からのお客に対応するため、中国語にも力を急入れていると、中国語グループの学習風景も画面に現れ、将来を見据えた前向きなアイセスの姿勢が強調されました。



この奈良テレビの放映を見て入会したという新入会員もあり、改めてマスメディアの威力を認識いたしました。徐々にアイセスの名が地元へ浸透し、外国人のお客様を迎えた時にはアイセスのガイドで法隆寺を案内するという習慣が根付いたらいいなと思います。(北原)

ガイド実績

案内件数は 468 件(前年比 82.7%)、案内人数は 1,469 人(同 92.4%)で、内日本人が 722 人と約半数を占めています。外国人の数は少なくなっていて、昨年の東日本大震災と福島原発事故の影響が、ここにも現れているようです。特に予約は年間 49 件で、昨年度の 74 件に比べると、3分の2にとどまります。国別では、アメリカ人が 188 人で最も多く、フランス人は 35 人と前年の 242 人より大幅に減りました。

カウンターでの当番人数は、延べ 623 人で、内 I センターで 442 人、駅で 181 人、1 ヶ月平均では約 52 人となり、まだ駅の当番に入る会員が少なく、駅でのガイド実績も 16 件と、I センターの 3.9%に過ぎません。駅での当番をよろしくお願ひします。(中野)

過去3年の案内実績

(4月1日～翌年3月31日までの集計)

	案内件数	案内人数
2011年度	468	1,469
2010年度	566	1,590
2009年度	569	1,863

2011 年度団体ガイドの一例

日	団体名	人数	ガイド
5月3日(火)	マンフレード様引率北海道大学留学生	20名	5名
6月13日(月)	カリフォルニア州立大学学生	13名	6名
7月8日(金)	国立民俗学博物館 海外研修生	16名	4名
9月12日(月)	ユネスコアジア文化センター	16名	8名
9月26日(月)	伊丹ユネスコ協会	30名	7名
10月2日(日)	JICA より依頼のエジプトからのお客様他	15名	3名
10月7日(金)	N 社シンガポールのカスタマー招待旅行一行	18名	2名
10月29日(土)	同志社女子大学国際交流センター	11名	3名
11月15日(火)	四天王寺ボランティアガイドの皆様	18名	4名
12月21日(水)	横浜シュタイナー学園御一行	19名	4名
1月18日(水)	アメリカ/Austin University 一行	12名	1名
2月19日(日)	東京医科歯科大学依頼中国、韓国の研究者一行	28名	2名

◆ 海外のお客様からのメッセージ

From USA 2012.3.5

Hi! I am 11 years old. Last month I went to Japan with my dad. The very nice tour guide showed us around at Horyuji temple. She spoke both English and Japanese and told us a lot of interesting history about the temple.

guidance brought us to appreciate even more the vast Japanese history and culture.



From Canada 2011.7.19

From Finland 2011.10.26

Thank you very much for the attention you gave us during our visit to Horyuji. Your

I would just like to say that your tour over the Horyuji temple was fantastic! Thank you so much! My kids and I learned so much with you.

地域とともに



7月1日には、例年通り、貿易研修センターが招聘した海外の教育者6名が斑鳩町を訪問した。今年は東日本大震災の影響で参加者が減少。午前中は3班に別れ3名のガイドが1時間半の予定で法隆寺を見学した。

続いて訪問した斑鳩西小学校では、「翼をください」の合唱で迎えられ、お客様は大感激。児童たちと一緒に給食を頂き、書道の授業やお茶会の体験をした。海外の教師1名に対しアイセス会員が1名通訳として付いた。子供たちがトイレまで自分たちできれいに清掃するのを見て、海外の先生方は感心していた。



中学校の法隆寺案内学習は、斑鳩南中学校が先行し、9月26日に事前学習、10月19日に現地学習を行った。現地学習ではNHKのテレビカメラが入り、生徒も留学生もアイセスも大いに力が入った。

斑鳩中学校は、11月1日に事前学習、12月2日に現地学習を行った。

今年1月26日に2中学校の英語の先生方、アイセスメンバー4人が集まり、反省会を行った。アイセスから次の2点を提案した。①中学生の法隆寺に関する知識を深めるために、小川会長による講義の後、事前学習の前に、アイセスが中学生に日本語で現地案内する機会を作ってはどうか。②テキストは2校がそれぞれに作っているが、共通の簡潔でわかり易いものを、アイセスも手伝って作ってはどうか。2点とも快く受け入れられて、来年度から実施することになった。

2006年から始まったこのプロジェクトは年々改良され、アイセスの関与も深まりつつある。今ではアイセスの重要な年間行事の一つとなっている。



2月末にiセンターに若い女性の訪問客があった。現在神戸外国語大学の学生で、斑鳩南中学校の卒業生。法隆寺案内学習の第1期生だそうだ。法隆寺学習がきっかけで英語を学ぶことに目覚め、「絶対に外大へ行く」と決めたそうだ。それが現実となり、4月からはオーストラリアへ1年間留学するという。そして「帰国したらアイセスに入れてください」と入会の予約。小川会長は「うれしいの一言」と相好を崩していた。

中学生が大きくなってアイセスに入ってくれる、なんと壮大な、しかも現実可能な将来だろう。(北原)

班活動

A 班

原則的に毎月1回集まって座学中心の勉強会をすることに決まりました。

前半は通訳ガイドとして英語力を磨くことを目標にした勉強会。参加者各自が分担して英文のガイド原稿を作成、勉強会で発表するというものです。マニュアル通りの案内ができるのは当然のこと、観光客を楽しませるための工夫と臨機応変に対応できる英語力の必要性を痛感しました。

後半は日本語による法隆寺関連の研究発表が中心になりました。発表者とテーマは下記の通りです。



- 10月 「五重塔の初層の塑像」 益田
- 11月 「法隆寺と玄奘三蔵」 北原
- 2月 「聖徳太子」 小菅
- 3月 「聖徳太子続き」小菅

最後に、後半は私事の為ほとんど班長としての役目を果たすことができず申し訳ない思いであります。ベテラン班員の皆様に支えられての一年間でした。ありがとうございました。(小川ス)

B 班

本年度の活動は以下の通り。

1. 東大寺北部地区名所訪問研修(6月29日、10名)
東大寺から正倉院近くを歩き五劫院、北山十八間戸を経由して般若寺及び転害門に立寄る。昼食後「子規の庭」を散策。
2. 座学勉強会「玉虫厨子」(7月21日、10名)
「聖徳太子と玉虫厨子」石田 尚豊 著 をベースに学習発表。

3. 飛鳥地区名所訪問研修(10月13日、8名)

橘寺、水落遺跡、埋蔵物資料館、万葉文化館(富本銭工房跡)を訪問、昼食後飛鳥寺、伝板蓋宮跡、万葉文化館、亀石等を、道端に咲く珍しい白い彼岸花を愛でながら訪問研修。



4. 座学勉強会「西円堂の鏡について」(1月26日、9名)
普段訪問機会の少ない西円堂及びそこに奉られている鏡に関して学習

5. 期末反省会・懇親会(3月25日、8名)
メンバー間の親睦を深めると共に、1年間の活動の反省・総括と来季への班活動への取り組みについて意見交換を実施 (井上ア)

C 班

最初の話し合いで、①奈良方面のガイドもしてみたい。②法隆寺案内を基本から勉強しなおす。の二本立てで年間計画を立て、主に座学で勉強することになりました。

班内だけで8人ほど、班外の参加者がある時には12人程度で、常に賑やかに和気藹々と勉強できました。7月には屋外に出かけ、班内の親睦も図ることができました。



- 6月 ガイド免許を持つ会員による「ガイドのための英語勉強法」座学
- 7月 Nara Guiding Model Course I (東大寺、興福寺) 座学
- 10月 Nara Guiding Model Course II (春日大社、ならまち) 座学
- 11月 高取町の案山子祭り、壺阪寺、高取城址、見学とハイキング
- 12月 法隆寺西院案内座学
- 1月 法隆寺西院案内座学
- 2月 大宝蔵院座学
- 3月 法隆寺東院案内座学

とても協力的なメンバーばかりで、有意義な班活動が行えたと自負しております。(小西)

D 班

当班は、多忙な班員が多く、出席者が3割と少ないのが悩みでした。反面、他班の有志が当班活動に熱心に協力してくれたお蔭で、催し

も遜色ない参加者数を確保し、「班活動の体」を保てました。四天王寺参詣を契機に、聖徳太子縁の両寺院のガイド交流を実現できた事は収穫でした。

班行事は8回実施。

- 5月 懇親会(8名、井上)
- 6月 四天王寺勉強(8名、井上)
- 9月 室内勉強「飛天画が語る東西文化の交流」(14名、井戸)
- 10月 住吉大社勉強(13名、服部)
- 11月 四天王寺ガイド18名に法隆寺をガイド。



太子縁の両寺院ガイドの交流を図る。(井上、加藤、池田、梅田)

- 11月 飛鳥の万葉集スポット勉強(5名、中島)
- 12月 六角堂、広隆寺、天龍寺勉強(8名、安田)
- 3月 宇治を勉強(10名、井上) (井上コ)

E 班

4月の例会で班活動の計画を作成し、座学ではなく寺院等への見学を主に行うことにした。

1回目は、7月14日「奈良公園の散策」(三橋さん)。参加者は5名と少なかったが、晴天で観光客が多い中、樹木や燈籠を中心に楽しく勉強できた。



2回目は、8月23日「斑鳩3寺拝観」(東さん)を行った。参加者は7名で、参加頂いた方のマイカー(2台)で回って拝観した。夫々のお寺には重文の仏像が安置されていた。

3回目は、11月25日「当麻寺拝観」(中谷さん)。参加者は11名で、紅葉が綺麗なお寺で仏像を拝観し、住職に解説をして頂きながら當麻曼荼羅を鑑賞した。

メンバーの皆さんの多大なご協力で班活動ができました、班長としての活動が不十分で反省しています。(池田)

アイセス 20 周年

◆ アイセスは今年、創立 20 周年を迎えます

1992 年 10 月、斑鳩町公民館活動の英語講座修了生を中心とする 26 名が、「文化交流の会」(International Cultural Exchange 略称 アイセス)を作ったのが現在の斑鳩アイセスSGGの始まりです。

今年は創立 20 周年を迎えます。これを記念し、またアイセスのさらなる発展の出発点として、今年は次のような行事を企画しています。



● 春と秋のキャンペーン

- ▶ 春は 4 月 1 日(日)から 14 日(土)まで、ガイド要員を強化してより多くのお客様を案内
- ▶ 秋は 10 月 8 日(月)から 21 日(日)まで、ガイド予約をした外国人先着 100 名に法隆寺拝観券プレゼント

記念式典とシンポジウム

- ▶ 10 月 7 日(月)にいかるがホール小ホールにて開催。
- ▶ シンポジウムでは法隆寺ゆかりの方々にご講演をお願いしています。

● 交流会

- ▶ 記念式典とシンポジウムの後、招待客とアイセス会員が歓談する交流会を開催。

● 創立 20 周年記念冊子の発行

春のキャンペーンでは、
261 人の外国人のお客様
を案内しました。

◆ アイセス、観光事業への貢献に対して表彰される

- 奈良県観光事業功労賞受賞 (8 月)
- 斑鳩町の観光地資質向上に貢献したことにより斑鳩町長より表彰 (12 月)

【平成 23 年度(2011 年度)の入会者】

松本 寛器、宮城 まり子、山口 則正、小山 松信、岡 樞夫、郷 宗貞、高井 麻里、
八尾 鈴子、鈴木 正三、鎌田 純子

斑鳩アイセス SGG の概略

設立: 1992 年 10 月
会長: 小川 勝
会員数: 63 名(2012 年 3 月末現在)
会員年齢層: 30 歳代から 80 歳代まで
活動実績: 約 1,500 人の方々(2011 年度実績)に法隆寺を案内

【編集後記】

今年は講演会と班活動が活発な年でした。また、春のキャンペーンは、アイセス 20 周年の実力をフルに発揮して大成功でした。アイセスの将来が楽しみです。(北原)

発行責任者
斑鳩アイセス SGG
会長 小川 勝

事務局
法隆寺 i センター内
電話: 0745-74-6800
ファクシミリ: 0745-75-9090